

A Journey Through the Seasons:  
Depictions of Nature in Art

企画展

2022  
1.18 火 → 3.27 日  
10:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

入館料 一般1,000円、大学生・高校生 800円、中学生以下無料

※同会期中のリピーターは200円引き ※20名様以上の団体は100円引き

※障がい者手帳、被爆者手帳をご提示の方とその同伴者1名は無料

主催 公益財団法人 大倉文化財団・大倉集古館

協力 株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、大成建設株式会社

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、展覧会およびイベントが中止、

または変更となる場合がございます。最新の情報は当館ウェブサイトをご覧ください。

※会期中に一部作品の展示替を行います。

上から《花鳥草虫図巻》 鎌倉末期 中国・清時代(部分)、《吉野山崩壊五重塔図》 江戸時代一冊五、  
《秋草時節文台》 喜田幸七作 明治、《清朝名人墨画集》より「梅梅に白頭翁図」 李亨洪筆 中国・清時代(部分)、  
《寒光雪梅図》 曹升梅開筆 江戸時代(部分)、《松に白頭翁図》 桃山時代(部分)



# 季節をめぐり、 自然と遊ぶ

～花鳥・山水の世界～

大倉集古館  
OKURA MUSEUM OF ART



# 季節をめぐり、 自然と遊ぶ

～花鳥・山水の世界～

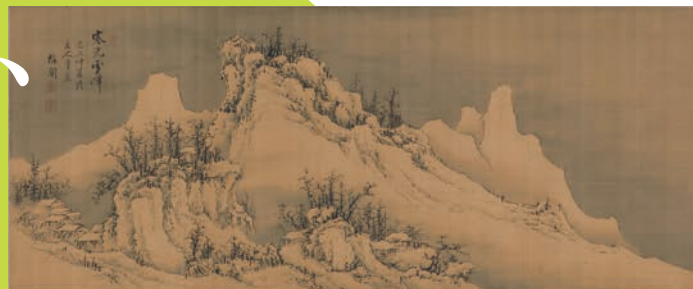
古来より人々は、表情を変える自然の姿に美や意味を見だし、その形を写し取ろうと試みました。

季節ごとの花や鳥の美しさ、山岳や河川の雄大さ、そして変転する天象や地象を造形化したものは、その姿形や特徴から吉事の兆しと認識されるようになります。更に自然の造形は、特定の季節のイメージと結びつくようになります。春に咲く花は多くありますが「春は桜」といった結びつきが生まれ、私達に広く共有されるようになりました。そして、移りゆく季節のイメージは、人々の人生観と結びつき、人生や心情を表現する媒体としての役割も担うようになります。

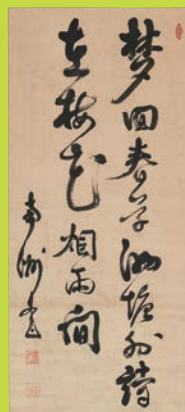
本展では、花鳥や山水などの自然の姿を写した和漢の絵画・書跡・工芸品を取り上げ、季節や時の移ろいを意識しながら、そこに込められた意味や表現方法などを探っていきます。

## 担当学芸員によるギャラリートーク

日時	1/25(火)、2/8(火)、2/22(火)、3/1(火) 3/15(火) 各回14:00～(約1時間)
定員	15名(事前申込制、先着順)
担当	四宮美帆子
会場	大倉集古館展示室。ご来館の際、受付にお声がけ下さい
参加費	無料(ただし入場には入館券が必要)
お申込	03-5575-5711 (10:00～17:00)



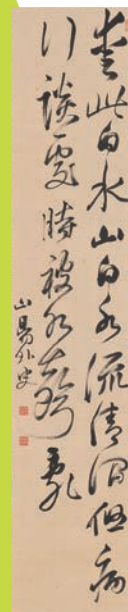
《寒光雪峰図》 曹井梅関筆 江戸時代



《梅花の詩》 西郷隆盛筆 明治



《五言絶句・山中煎茶図》 頼山陽、青木木米筆 江戸時代



《清朝名人便而集珍》より「梅梢に白頭翁」 李子洪筆 中国・清時代



《花鳥草虫図巻》 潘宗寧筆 中国・清時代 巻き替えあり



《桜に杉園屏風》 横山時代



OKURA MUSEUM OF ART  
公益財団法人 大倉文化財団  
大倉集古館

公益財団法人 大倉文化財団・大倉集古館  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3 (The Okura Tokyo前)  
TEL:03-5575-5711 <https://www.shukokan.org/>

- アクセス
- 東京メトロ南北線 六本木一丁目駅中央改札口(泉ガーデン方面)より5分
  - 東京メトロ日比谷線 神谷町駅4b出口より7分
  - 東京メトロ銀座線・南北線 溜池山王駅13番出口より10分
  - 東京メトロ銀座線 虎ノ門駅3番出口より10分
  - 東京メトロ日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅 A1またはA2出口より8分

